




## ●レジ袋の無料配布取止めの取組みとその広がり

- ・3/5 協定締結 25社116店舗
- ・4/1 開始 28社208店舗
- ・11/3現在 44社400店舗



4月～9月  
**マイバッグ持参率：94%**  
 (スーパーマーケット 89%、クリーニング店 99%)

持参する理由 71%が環境配慮  
 ごみ減量化(31%)、温暖化防止(25%)、資源節約(15%)

取組効果 1回の買い物で1.5枚とした場合  
 レジ袋削減枚数 6,447万枚の削減   
 CO<sub>2</sub>の削減量 スギの木56万本   
 石油の削減量 ドラム缶 5,900本 (2,017世帯分) 

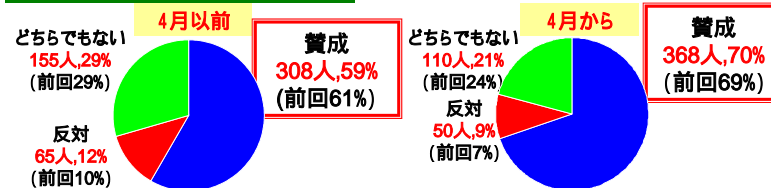
## ●実施店舗の推移

時 点	実施店舗数等	スーパー	クリーニング	ドラッグストア
H20.3.5	25社 116店舗	25社 116店舗		
H20.4.1	28社 208店舗	27社 120店舗	1社 88店舗	
H20.11.3	44社 400店舗	33 144店舗	6社 148店舗	5社 108店舗

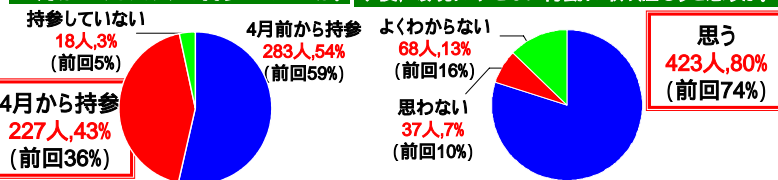
## ●レジ袋の無料配布取止めにに関するアンケート結果

- ・調査日時 平成20年6月8日(日)
- ・調査場所 富山県内スーパー3店舗(県東部、県西部、県中部の各1店舗)の店頭  
(前回調査日 平成20年5月1日(木)、2日(金) 本調査結果では、「前回」と表記)
- ・調査方法 買い物客に対する聞き取り調査
- ・調査人数 528人(男性130人(25%)、女性398人(75%))

### レジ袋の無料配布取止めに賛成か。



### 4月からマイバッグを持参しているか、今後、環境にやさしい行動に取り組もうと思うか。



## ●レジ袋削減推進協議会の設立

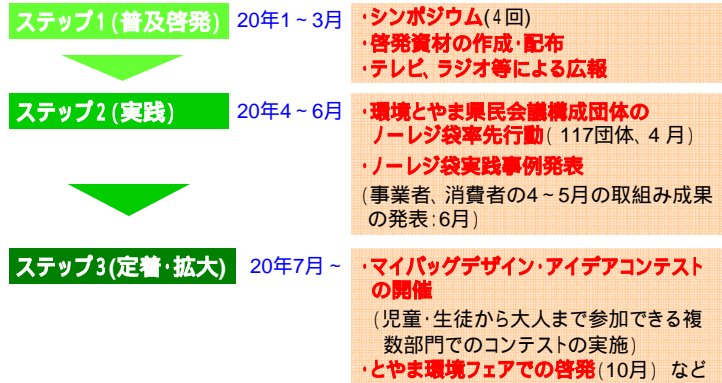
H19.6  
 会 長：宮下 富山県環境審議会会長  
 事 業 者：スーパーマーケット10社・1協同組合(123店舗)  
 消費者団体：6団体  
 (県消費者協会、県婦人会、県生活学校連絡協議会、  
 県PTA連合会、県環境保健衛生連合会、  
 とやま環境財団)  
 行 政：県(協議会事務局)、市町村

- H19.11 スーパーマーケット1社(6店舗)が新規参加
- H20. 3 スーパーマーケット25社(116店舗)、消費者団体、行政の3者で協定書を締結  
 協定締結時に消費者団体4団体が新規参加
- 3月末に スーパーマーケット2社(4店舗)、クリーニング業1社(88店舗)が新規参加

## ●ノーレジ袋県民大運動の展開

マイバッグの持参を県民総ぐるみの運動として展開

### ノーレジ袋県民大運動2008



実施企業の拡大

## ●普及啓発活動

20年1～3月に、「レジ袋の削減の意義」に関する啓発と4/1スタートの周知のため、あらゆる媒体を活用して積極的にPRを実施

- **ノーレジ袋県民シンポジウムの開催**  
県内4会場で開催、約800人が参加
- **テレビ、ラジオ等の広報媒体による普及啓発**  
県政テレビ・ラジオ番組、テレビスポットCM、新聞広報、県広報誌
- **各種団体の会合での説明**  
各種団体の会合や出前県庁を通じた説明を実施(約40回、約1,500名)
- **普及啓発資材の作成、提供等**  
・チラシ(130万枚)、ポスター(2千枚)、のぼり旗(750本)の作成、事業者等への提供  
・消費者団体、経済団体など環境とやま県民会議117団体を通じたチラシの配布  
・各種イベントにおけるチラシの配布、ポスター等の掲示  
・**チラシの全戸配布**(約37万2千世帯)



## ●今後の課題

### ■マイバッグ持参の定着及び取組みの「輪」の拡大

- ・マイバッグを、日常生活の中の「当たり前」の行動として定着する必要がある。
- ・ホームセンター、コンビニエンスストアなどの他業種にも、取組みの輪を広げる必要がある。

### ■環境にやさしいライフスタイルへの転換

- ・地球環境にやさしいライフスタイルの実践
- ・循環型・脱温暖化社会の構築

### とやまエコライフ・アクト10宣言

